

安全

1-1 安全は、「対岸の火事」でなく「他山の石」の気持ちを持つという意味を知っていますか？

ことわざ「対岸の火事」の意味は、「自分にはまったく影響がなく、痛くもかゆくもないできごとのたとえ。」である。

ことわざ「他山の石」の意味は、「自分にとって参考になり役に立つ、自分とは関係のないところで起こった事柄のたとえ。また、他人の言動を手本として、自分のために役立てることのたとえ。」である。

つまり「他山の石」の気持ちとは、新聞やテレビなどで災害や事故などを知った時は、それらの原因を参考として、自分の安全確保の知識・技術を高めるように意識することである。決して「対岸の火事」のように、他人事のようにそれらの情報を扱わないようにすることが必要である。

災害や事故に関する情報は、インターネットから検索することができる。

○毎日 jp (<http://mainichi.jp/>)

事故情報を集めているサイトがある。

○事故情報データバンクシステム (http://www.jikojoho.go.jp/ai_national/)

○安全衛生情報センター (<http://www.jaish.gr.jp/>)

○製品評価技術基盤機構 (<http://www.nite.go.jp/>)

大学に特化した事故情報を集めている会社がある。

○国大協サービス (<http://www.janu-s.co.jp/>)

化学物質に関する事故情報を集めている会社がある（ニュースレター配信）。

○教育研究機関化学物質管理ネットワーク (<http://www.kyokanet.jp/>)

「他山の石」の気持ちとは、災害や事故の原因を参考として、自分の安全確保の知識・技術を高めるように意識することである。